

インド

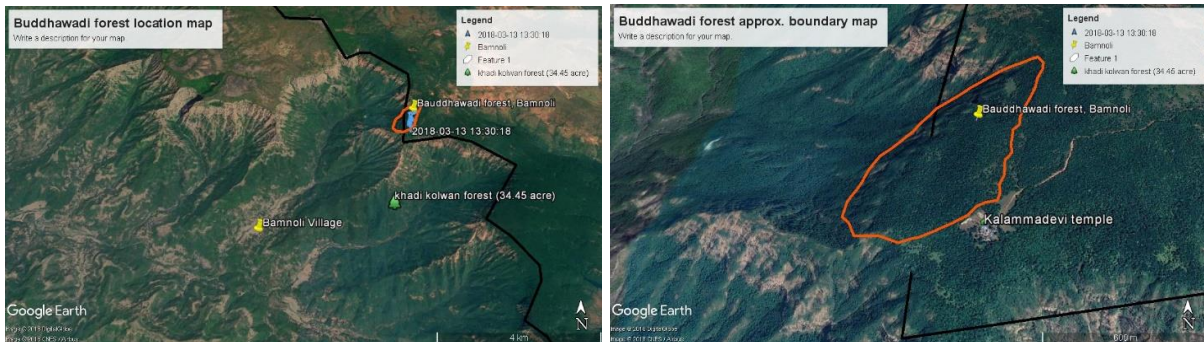
健康な森、健康な人々、気候変動プロジェクト
西ガーツ北部の生物多様性保全と持続可能な生計支援
現地からのお便り

2018年5月
Applied Environmental Research Foundation (AERF)
コンサベーション・インターナショナル

* 本プロジェクトは、インドの地元 NGO である Applied Environmental Research Foundation (AERF) が実施します。

保全契約

AERF チームは、Bamnoli 村の人々と協力しながら、同村で 153 エーカーの常緑樹林を保全することになりました。今回保全契約を結んで保全することになった森林区画が、Amba 保護林と Sahyadri トラ保護区に隣接している点が、今回の契約のユニークなところです。私達は、今年この森で、生物多様性に関連した面白い発見ができるだろうと期待しています。さらに、Umare 村の 27 エーカーの民有林でも保全契約に署名しました。このように、この四半期に、保全契約を締結できた森林の総面積は、180 エーカーに上りました。



Bamnoli 村の森林の位置とその境界線



林冠の覆いと傾斜の様子



Bamnoli 村の Sangameshwar 地区で保全契約に署名する土地所有者たち

燃料の使用状況に関する調査の実施と、バイオマスを使ったかまどの実演と配布

AERF チームはこの四半期に、Talwade 村と Wighravali 村で、燃料の使用状況に関する調査を行いました。調査の結果、どちらの村でもほとんどの世帯で、燃料需要を満たすために、周りの森林から集めた薪に依存していることが分かりました。Wighravali 村では、調査を行った 48 世帯のうち 39 世帯で、完全に木材に依存していました。Talwade 村では、53 世帯中 46 世帯が木材を使用していました。Wighravali 村のひと月当たりの薪の収集量は 7.2 トンで、Talwade 村では 8.4 トンでした。村人たちは、1 年のうち平均 4 か月間、薪の収集を行っていることを理解する必要があります。この薪の量は、この地域で森林と生物多様性の喪失への圧力を減らすために、かまどの改良を進めるための戦略が必要であり重要であることを示しています。



調査を行う AERF チームメンバーと家の外に積まれた薪

さらに、AERF チームは、Katwali、Vighravali、Talwade、Sayale、Pur の 5 つの村の 7 つの集落で、バイオマスを使ったかまどの実演会を 11 回行いました。また、Wighravali、Sayale、Katavali の 3 つの村で、バイオマスを使ったかまどを 30 台配布しました。



Talwade 村と Pur 村でのバイオマスを使ったかまどの実演



チームからバイオマスを使ったかまどを受け取るコミュニティの人々

Anaderi 村の森での生物多様性の調査

AERF チームは、本プロジェクトの支援で結ばれた保全契約の下で守られている Anaderi 村の 161 エーカーの民有林で、生物多様性に関する簡易な調査を行いました。この調査の結果、58 種の樹木、15 種の低木、12 種のハーブ、16 種のつる性植物、3 種の草を含む 105 種類の植物を発見しました。また、18 種の哺乳類、27 種の鳥、19 種の蝶、4 種の蟻を記録しました。この調査によって、今も民有林が有する、保全上の重要性が明らかになりました。通年にわたる詳細な調査を実施すれば、この地域で発見される植物、鳥類、哺乳類、両生類、爬虫類の種類が大きく増えることは明らかです。



Anaderi 村の森で生物多様性の調査を行う AERF チーム



Dillenia pentagyna と *Ferniana colorata* の花

FAIRWILD 認証を受けた果実の持続可能な収集、加工、発送

AERF チームと FAIRWILD 認証の登録を受けた Sangameshwar 地区の収集者は、この四半期に、認証を受けた 12 のサイトからセイタカミロ balan (*Terminalia bellirica*) の実を 4,200 キログラム採取しました。今四半期の最後に、初めの 180 キログラムのビビタキ (*Bibhitaki*) の殻をバンガロールに発送しました。今シーズン中に、認証を受けたビビタキの殻 1500 キログラム分がイギリスへの輸出のために販売されます。



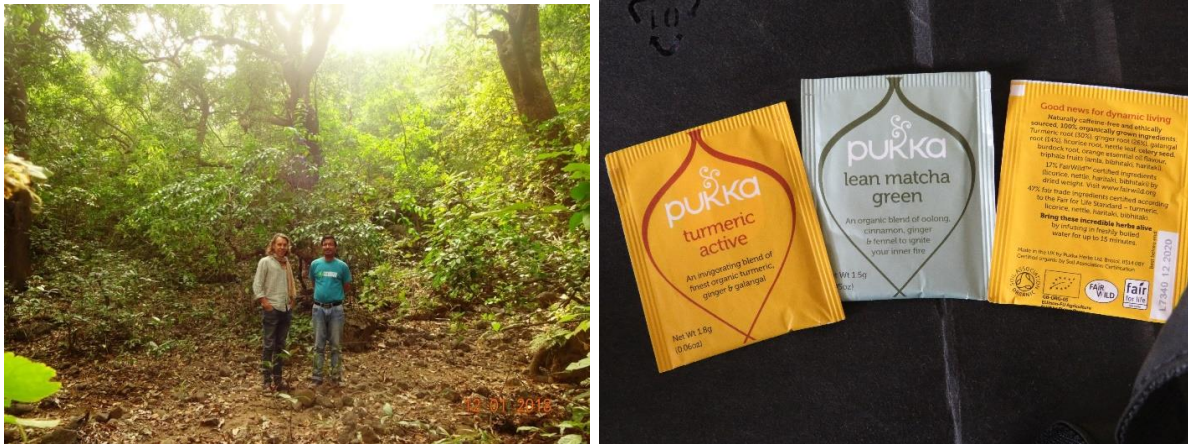
FAIRWILD 認証を受けた収集者(左)と加工センターで加工作業を行う女性たち(右)



FAIRWILD 認証を受けたビビタキの殻の袋と発送

エピソード

本年 1 月、AERF チームは英国 Pukka Herbs 社の創業者であり取締役である Sebastian Pole 氏を歓迎しました。Pole 氏は FAIRWILD 認証済みの地域を訪問するとともに、FIREWILD 認証を受けたサプライチェーン拡大の潜在的な可能性を把握するために西ガーツ北部の新たなサイトを訪問しました。同氏は、AERF と AERF が設立した民間企業である Nature Connect から調達した FAIRWILD 認証済み原料を含む 2 種類のお茶を販売することを発表しました。Pukka Herbs 社は、AERF と Nature Connect からの FAIRWILD 認証済み原料の重要なバイヤーであり、ヨーロッパで有数のハーブティーメーカーです。



現地を訪問する Sebastian Pole 氏と AERF スタッフ（左）と FAIRWILD 認証を受けた原料を含むお茶の小袋（右）

AERF と Nature Connect は、FAIRWILD 認証済みのアーユルヴェーダで有名なトリファラ（Triphala）300 キログラムの試験的な注文への対応を終え、Pukka Herbs 社に輸出しました。トリファラは、ミロバラン（*Terminalia chebula*）、セイタカミロバラン（*Terminalia bellirica*）、アムラ（*Phyllanthus embellica*）という 3 つの実で作られます。この中から、AERF は、セイタカミロバランとミロバランの FAIRWILD 認証済みサプライチェーンを立ち上げました。インドから FAIRWILD 認証済みの原料を輸出したのは Nature Connect が 2 社目です。この輸出は、企業とコミュニティに対して大きな収益を生み出す手助けし、認証を受けた地域での長期的な保全を可能にするでしょう。



Pukka Herbs 社に輸出される FAIRWILD 認証を受けた 300 キログラムのトリファラの商品

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。